

小学生のバス無料乗車デーの結果について

1 概要

(1) 実施の目的

名鉄バス及び名鉄東部交通が運行する市内路線バス全線の小学生の運賃無料化を実施することで、実際にバスに乗車してもらい、公共交通利用の促進につなげることを目指す。

また、小学生の運賃無料化がバス利用者の増加に繋がるかについても検証する。

(2) 実施日

1日目：令和6年11月2日（土） 雨

2日目：令和6年11月3日（日） 晴

(3) 実施主体

名鉄バス(株)、名鉄東部交通(株)

2 実施結果

(1) わくわくカード提示による小学生の無料乗車数

	名鉄バス	名鉄東部交通	合計
11月2日（土） 雨	29名	0名	29名
11月3日（日） 晴	61名	10名	71名
合計	90名	10名	100名

(2) 過去の無料乗車デーの実施実績

	1日目（土）	2日目（日）	合計
平成30年	晴 164名	曇時々雨 156名	320名
令和元年	晴 120名	晴 179名	299名
令和6年	雨 29名	晴 71名	100名

(3) 基準日に対する乗車状況（名鉄バス調べ）

※基準日（大型イベントがない土日の雨の日、晴れの日の利用者数を按分した数字）を100%とした際の乗車状況

	1日目（土）	2日目（日）	2日間
令和5年同週 （無料乗車未実施）	曇 102.5%	晴 106.1%	104.0%
令和6年 （無料乗車実施）	雨 88.9%	晴 125.1%	104.5%

3 評価

- 準備不足等により市政だよりへの掲載ができなかったことなど、周知不足のため、過去の実績に比べ利用者が下回る結果となった。
- 2日目の日曜日の乗車状況は基準日や無料乗車を実施しなかった昨年度を大きく上回っている。前日の雨の反動の影響は否定できないものの、周知不足の中においても無料乗車による一定の効果が出ていると推測される。
- 交通事業者と評価方法に関する調整不足により、想定していたデータの取得ができず、十分な効果検証を図ることができなかった。
- 今後実施する際には、より効果的な事業となるよう、周知方法や周知期間を念頭に置いたスケジュール設定や、効果検証方法に関する交通事業者との事前調整などを図る必要がある。